

国土交通大臣賞
「事業所・地方公共団体等」分野

受賞者名

株式会社大林組 大阪本店 新名神戸 JCT 工事事務所

所在地

兵庫県神戸市

受賞テーマ

「循環型社会の形成に向け、3R 活動を含めたゼロエミッション活動の推進」

同現場では、以下のような取組を行った。

(1) 基本方針

- ・適正な活動計画、管理手法を立案し、確実にゼロエミッション活動・3R活動を推進するための現場組織体制を確立する。
- ・ゼロエミッション達成目標値を設定し、適正な活動計画の立案、職員や作業員への教育の徹底、実施の確認および報告の徹底を行うことにより目標に向けたゼロエミ・3R活動を確実に実施する。また、『エコオフィス活動』を徹底し、現場事務所においてもゼロエミ・3R活動を確実に実施する。



(2) 現場の組織体制

- ・同現場では、ゼロエミ・3R活動レベル向上の為の推進組織として、ゼロエミ委員会を設置する。同委員会は所長を委員長、工事事務所全職員、各協力会社のゼロエミッション責任者および職長を委員として構成し、ゼロエミッションの活動方針、具体的な活動方法、推進上の課題の解決策等を協議する。
- ・所長（委員長）はゼロエミッション責任者として、現場のゼロエミッション活動全般を指揮する。ゼロエミッション責任者の下にゼロエミッション担当者を置き、同責任者の指示の下、エコオフィス活動を含めたゼロエミ・3R活動の計画、教育・啓発、実施・普及状況の確認、実績の報告等の諸業務を担当する。
- ・環境推進者（EMS推進者）は、EMS活動全般の担当業務で、建設副産物管理責任者は、再資源化ルートの選定・確認、委託契約、実績集計等の業務で、ゼロエミッション担当者と連携し、支援する。
- ・各協力会社の営業所にはゼロエミッション責任者を置き、現場に配置する職長をゼロエミッション担当者として、各協力会社でのゼロエミ・3R活動を担当する。

(3) 3R活動概要

- ・建設廃棄物の3R活動に対する管理・報告（確認）。同社独自の管理システムを採用し、廃棄物の適正処理、発生抑制、再利用、再資源化に関する「事前計画」、「工程確認」ならびに「実施結果の記録」を迅速かつ正確に実施する。
- ・廃棄物の発生抑制、再利用、再資源化、梱包、搬入方法、廃棄物の再利用などの「施工の工夫」や、「仮設材に対する工夫」により、廃棄物の発生抑制、再利用を図る。また分別を確実に実施し、最適な処理会社を調査、設定することにより、廃棄物の再資源化を促進する。



型枠フレ止めブロック
(余剰コンクリート利用)



廃棄物の圧縮処理
(カサの大きな廃棄物の減容化)



工場加工済み鉄筋の使用
(端材や残材の発生を抑制)